

令和 8 年上半期消防統計

(令和 8 年 1 月 1 日～ 6 月 30 日)

【総 論】

(1) 119 番通報

- 119 番通報件数 1,893 件。前年同期比 370 件減少。(16.4%減)
- 通報件数の約 6 割が救急関係の通報で、件数 1,184 件。

(2) 火災

- 火災件数は 8 件、前年同期比 1 件増加。(14.3%増)
- 建物焼損面積は、過去 10 年最少。焼損建物は、前年同期比約 8 割減少。
- 損害額は、過去 10 年最少、803 千円、前年同期比 36,042 千円の減少。

(3) 救急

- 救急出動件数 1,202 件。前年同期比 146 件減少。(10.8%減)
- 救急搬送人員 1,153 人。前年同期比 121 人減少。(9.5%減)
- ドクターヘリの要請件数は、10 件。前年同期比 12 件減少。(54.5%減)
連携件数は、7 件。前年同期比 3 件減少。(30.0%減)

(4) 救助

- 救助出動件数 16 件、うち救助活動件数 8 件。
- 前年同期比で救助出動件数は 1 件増加。(6.7%増) 活動件数は 2 件増加。(33.3%増)

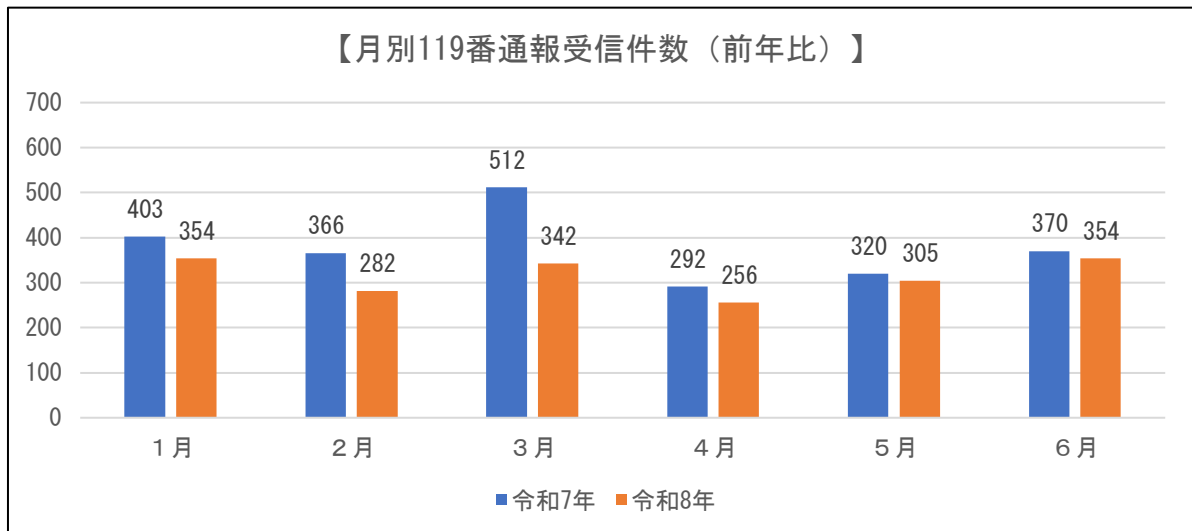


(1) 119 番通報



① 通報件数

119 番通報件数は 1,893 件で、前年（2,263 件）より 370 件減少しています。



② 通報件数概要

119 番通報のうち、災害事案に関する通報は 1,256 件で、前年（1,396 件）より 140 件減少しています。119 番通報のうち、「救急関係」の通報が最も多く、1,184 件で通報全体の約 6 割を占めています。また、「問合せ」、「いたずら」、「まちがい」などの緊急性のない通報が 637 件となっています。

③ 災害事案以外の通報

災害事案以外の緊急性のない通報において、「問合せ」は 44 件で、前年（66 件）より 22 件減少しました。「まちがい」は 81 件で、前年（91 件）より 10 件減少しました。

また、「回線試験」、「通報訓練」及び「その他」等の通報は 512 件で、前年（710 件）より 198 件減少しています。

④ まとめ

今年の上半期は前年に比べ通報件数が 370 件減少しています。通報件数の減少は、救急関係の通報件数及び問合せ、まちがい、回線試験等のその他の通報が減少したことが要因でした。

令和 8 年 2 月から #7119 が石川県内で開始されたため、救急関係の問合せ件数が減少した一因として考えられます。



(2) 火 災



① 火災件数について

火災件数は 8 件、前年（7 件）より 1 件増加しています。

火災種別では、「建物火災」が 2 件（前年 4 件）、「車両火災」1 件（前年 0 件）
「その他の火災」5 件（前年 3 件）でした。

市町ごとにみると、「羽咋市」3 件（前年 3 件）、「宝達志水町」1 件（前年 0 件）、
「志賀町」4 件（前年 4 件）でした。

令和 8 年中（1～6 月）の火災発生状況前年比較表

市町別	年	火災件数						焼損面積			損害額(千円)						焼損棟数					死傷者数	
		計	建物	林野	車両	船舶	その他	建 物		林野(a)	計	建物	林野	車両	船舶	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	死者	負傷者
								床面積 (㎡)	表面積 (㎡)														
羽 咋 市	R8年	3			1		2				609	3		570		36							
	R7年	3	1				2	137	54		33,079	33,032		14		33	4	1		3			1
	比較		△ 1		1			△ 137	△ 54		△ 32,470	△ 33,029		556		3	△ 4	△ 1		△ 3			△ 1
宝 達 志 水 町	R8年	1	1								2	2					1				1		1
	R7年																						
	比較	1	1								2	2					1				1		1
志 賀 町	R8年	4	1				3	5			192	187				5	1			1			1
	R7年	4	3				1	193	22		3,766	3,766					5	1		3	1	2	1
	比較		△ 2				2	△ 188	△ 22		△ 3,574	△ 3,579				5	△ 4	△ 1		△ 2	△ 1	△ 2	
計	R8年	8	2		1		5	5			803	192		570		41	2			1	1		2
	R7年	7	4				3	330	76		36,845	36,798		14		33	9	2		6	1	2	2
	比較	1	△ 2		1		2	△ 325	△ 76		△ 36,042	△ 36,606		556		8	△ 7	△ 2		△ 5		△ 2	

※ △は減少(－)を表します

② 原因について

約 4 割が枯草やごみ等の焼却行為に起因するものでした。そのほか電気に起因するもの、たばこの不始末から火災となったものがありました。

③ 損害について

損害額は、過去 10 年最少の 803 千円、前年同期比 36,042 千円の減少となりました。建物火災において、全焼や半焼した建物がなく、焼損床面積が 5 ㎡と過去 10 年最少であったことが要因として考えられます。

④ 死傷者について

火災により、初期消火を実施した方など住民 2 名が負傷しました。

⑤ まとめ

上半期の火災件数は昨年同期比 1 件増の 8 件でしたが、火災による損害は、過去 10 年最少となりました。初期消火・通報といった住民の方々の初動対応が的確に行われ、消防隊の迅速な活動に繋がった結果です。

また、今年の 1 月 1 日から「林野火災警報・注意報」の運用が始まっており、各種媒体（ホームページ、SNS、各市町広報誌等）を活用した広報や羽咋郡市内全世帯へのチラシ配布が功を奏したと考えられます。

引き続き、火災の発生を防ぐとともに、火災が発生した際は、被害を軽減し、原因を究明することで類似火災の発生を防ぎ、安全・安心な羽咋郡市を目指してまいります。

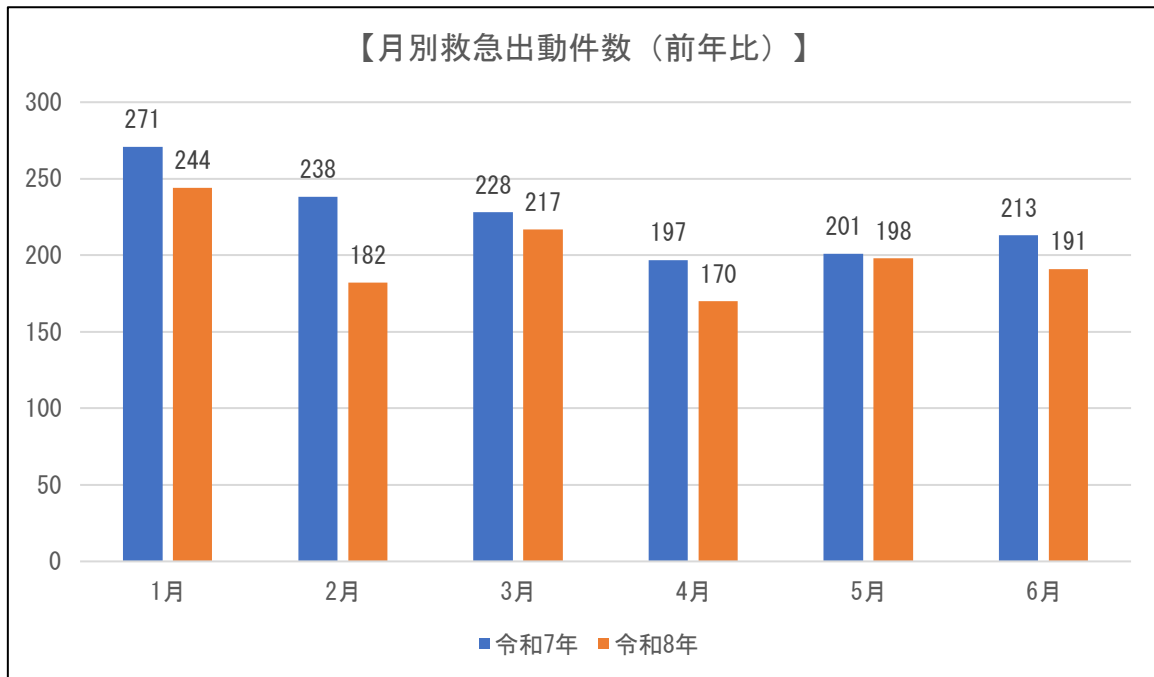


(3) 救 急



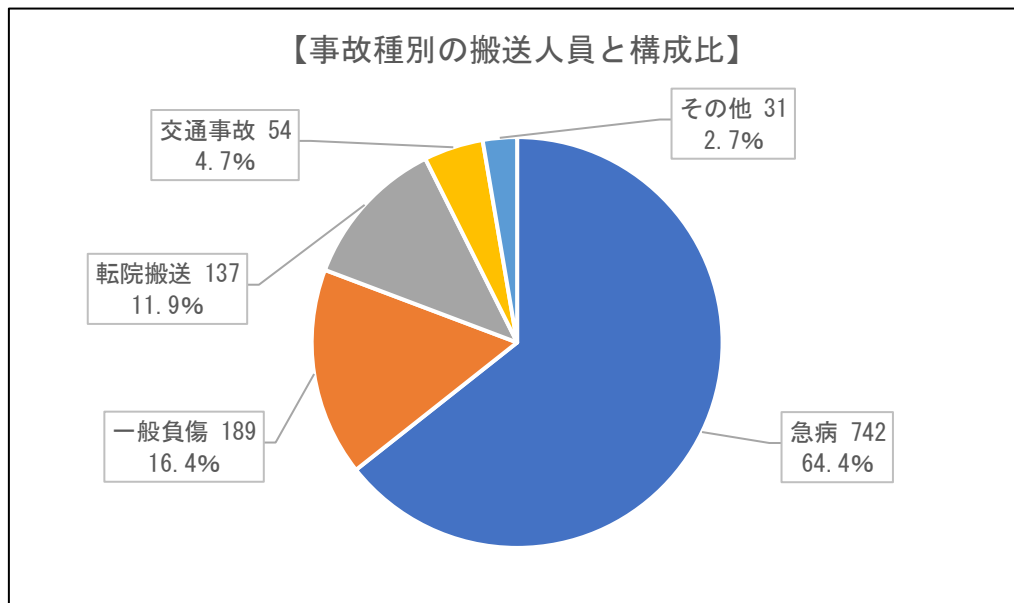
① 出動件数

救急出動件数は1,202件で、前年(1,348件)より146件減少しています。また、救急搬送人員は1,153人で、前年(1,274人)より121人減少しています。



② 事故種別

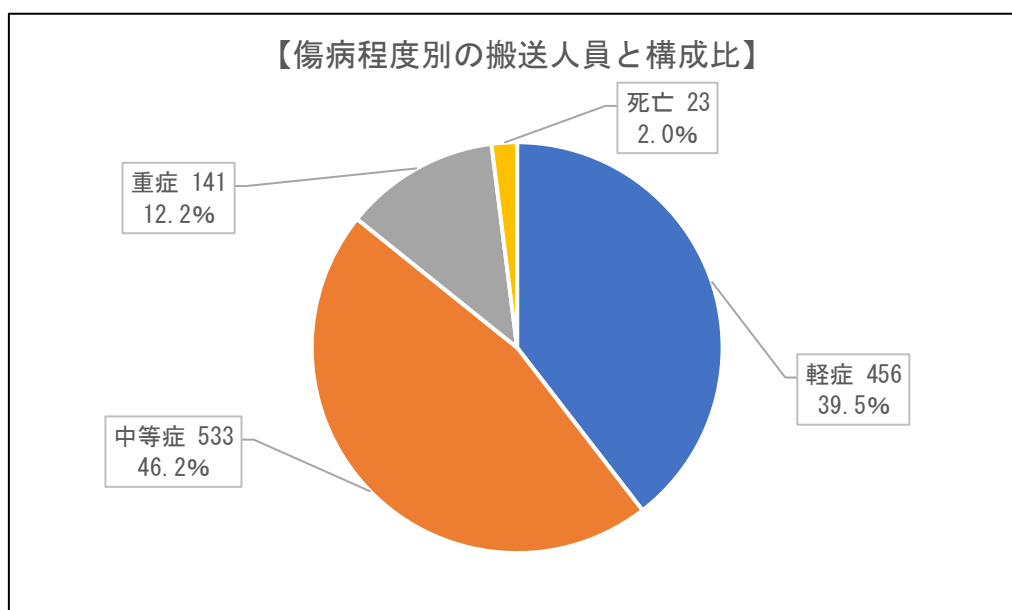
事故種別ごとの救急搬送人員は、1位「急病」742件、2位「一般負傷」189件、3位「転院搬送」137件、4位「交通」54件、その他31件の順となっています。



③ 傷病程度

傷病程度別による搬送人員は、軽症 456 人、中等症 533 人、重症 141 人、死亡 23 人でした。軽症及び中等症が 989 人で、全体の約 8 割を占めています。

前年は、軽症 527 人、中等症 525 人、重症 181 人、死亡 41 人でした。軽症及び中等症の合計が前年（1,052 人）に比べ 63 人減少しています。



④ ドクターヘリ出動件数

石川県ドクターヘリの要請件数は 10 件、実際に連携したのは 7 件となり、前年同期比で要請件数は 12 件減少、実際に連携した件数は 3 件減少となりました。

⑤ まとめ

救急出動は、出動・搬送ともに約 1 割の減少であり、地域の救急需要が一時的に落ち着いた状況となりました。急病が圧倒的多数を占める構造は変わらず、地域の救急搬送は「疾病対応型」が中心であることが継続されます。救急搬送の大半は重篤ではなく、緊急度中程度以下の事案が中心でありました。

＃7119 の導入が出動件数減少の一因として考えられ、重篤事案が減少していることから、地域の重大救急事案は前年より少ない状況でありました。



(4) 救 助



① 救助出動件数及び救助件数

救助出動件数は 16 件で、前年（15 件）より 1 件増加しています。また、救助活動件数は 8 件で、前年（6 件）より 2 件増加しています。

事故種別		件数等	出動件数	活動件数	救助人員
の前 比年 較と	令和 8 年		16	8	14
	令和 7 年		15	6	7
火 災	建 物				
	建 物 以 外				
交 通 事 故			8	3	5
水 難 事 故			1		
風 水 害 等 自 然 災 害					
機 械 に よ る 事 故			1		
建 物 等 に よ る 事 故			4	4	6
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故					
破 裂 事 故					
そ の 他 の 事 故			2	1	3

② 事故種別出動件数

事故種別出動件数は、交通事故が 8 件で全体の約 5 割を占め、建物等による事故及びその他の事故が 4 件、その他の事故が 2 件、水難事故及び機械による事故が 1 件となっています。

事故種 区 分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 自 水 然 害 災 等 害	事 機 械 に よ る 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
月 別	1 月			3	1			1			1	6
	2 月							2			1	3
	3 月			1			1	1				3
	4 月											0
	5 月			1								1
	6 月			3								3
合 計		0	0	8	1	0	1	4	0	0	2	16

③ まとめ

今年の上半期は、救助出動件数・救助活動件数は昨年と比べ増加したものの、過去5年間を比較して約16件弱を推移しています。事故種別ごとでは交通事故中心の傾向が続き、全体の約半数を占める構造は継続しています。

年 別 事故種別		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
火 災	建 物		2	1		
	建物以外					
交 通 事 故			8	7	7	8
水 難 事 故		6	4	1	1	1
風 水 害 等 自 然 災 害		1		5		
機 械 に よ る 事 故			1			1
建 物 等 に よ る 事 故			2	2	2	4
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		1				
破 裂 事 故						
そ の 他 の 事 故		2	1	2	5	2
合 計		10	18	18	15	16